



じょうそう

編集・発行
常総地方広域市町村圏事務組合
守谷市野木崎2522番地
TEL.0297 (48) 2339
<http://www.jyouso-koiki.or.jp>

体育館リニューアルオープン!

遮光カーテン

光の差し込みを
シャットアウト!

アリーナ・観客席天井

LED照明でとっても
明るくなりました。

体育館 床

けがをしにくい
クッションフロア

このアリーナは、スポーツ振興くじ助成金を
受けて整備されたものです。



体育館利用案内

区分	料金		利用時間
	圏域内	圏域外	
全面	4,000円	8,000円	9時~13時 13時~17時 17時~21時
2分の1	2,000円	4,000円	
4分の1	1,000円	2,000円	
冷房	12,000円	24,000円	

※利用料金は4時間ごとの料金です。

※圏域内料金で利用できるのは、常総市(旧水海道市)、取手市、守谷市、つくばみらい市、坂東市(旧岩井市)に在住、在勤の方です。

【お問い合わせ先】
常総運動公園
☎0297 (48) 5675

常総運動公園総合体育館は、平成31年度の茨城国体に向けてリニューアル工事を実施し、競技フロアに衝撃吸収力の高い塩化ビニールスポーツシートを採用して、プレイヤーの膝に負担のかからないフロアに、また、照明も明るく耐久性のあるLED照明に改修しました。
これらの改修は、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金を受けて整備したのですが、あわせて、従来のブラインドから遮光カーテンへの改修を茨城県の国体施設整備費補助金を受けて行いました。
常総運動公園の体育館は、今年8月に開催されるジャパントーナメントと来年10月に開催される茨城国体でハンドボールの競技会場となっています。
より快適な環境に生まれ変わった体育館を是非ご利用ください。
皆様のご利用をお待ちしています。

ご意見、ご要望をお気軽にお電話ください。

- ごみに関すること (常総環境センター) ☎0297 (48) 2314
- 消防に関すること (常総広域消防) ☎0297 (23) 0119
- スポーツ施設に関すること (常総運動公園) ☎0297 (48) 5675
- いこいの郷 常総に関すること (地域交流センター) ☎0297 (48) 3217

- 常総地方広域市町村圏事務組合「管理課(総括)」 ☎0297 (48) 2339
- 消防テレホンサービス ☎0297 (22) 0119
(常総《旧石下地区を除く》・守谷・つくばみらい地区)
- 県南総合防災センター ☎0297 (83) 2776
- 障害者支援施設 (ふれあいの杜) ☎0297 (27) 5016

ごみ処理基本計画を策定しました

計画策定の概要

常総環境センターでは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき、平成29年度にさらなるごみの減量化・資源化を進め、循環型社会を構築するため、ごみ処理施策の基本となるごみ処理量等について、平成30年度を初年度とし平成44年度を計画目標年度とする15年間の新たなごみ処理基本計画を策定しました。

この計画は、国の平成27年度改正の「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的な推進を図るための基本的な方針」及び茨城県の平成27年度策定の「第4次茨城県廃棄物処理計画」を踏まえ、廃棄物のリデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の3Rを推進し、住民・事業者・行政が一体となったごみ行政を進めていくための15年間の計画で、5年ごとに計画の評価を行い見直していきます。

計画の目標

計画の目標は、茨城県の目標値を準拠し、平成44年度までに、1人1日当たりのごみ総排出量を28年度実績に対して8%削減させ、リサイクル率を27%以上、最終処分量を60%削減していくことを目指します。

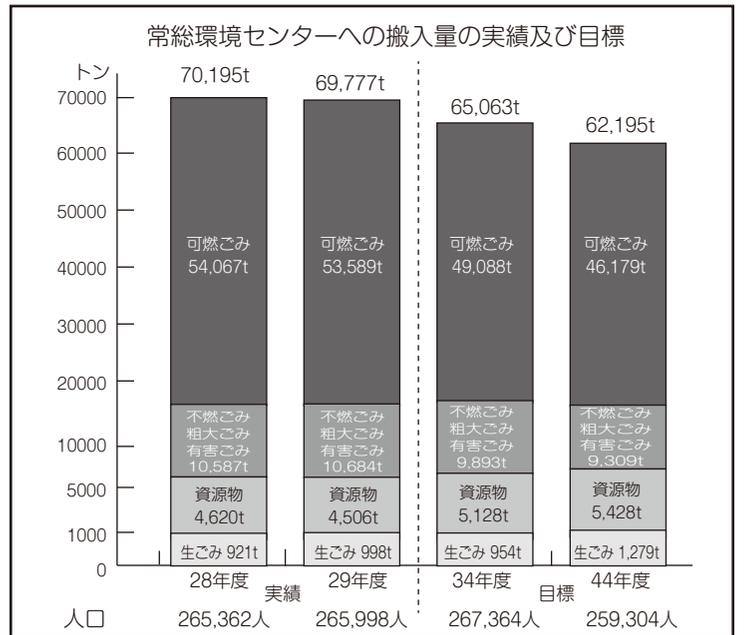
目標達成のためには、家庭におけるごみを1人1日あたり65g削減させていくこととなります。また、資源物(空きビン、空きカン、ペットボトル、プラ容器)の分別徹底と汚れを落としてからの排出が必要となります。常総環境センターでも焼却処理後の残渣である熔融スラグは埋立処分していますが、それを道路アスファルトの原料などに活用していくよう取り組んでいきます。

住民の皆様には、引き続きごみ行政についてのご理解・ご協力をお願いいたします。

ごみ排出量の目標設定値

区分	実績		中間目標年度	目標年度
	28年度	29年度	34年度	44年度
一人一日当たりのごみ総排出量 (行政回収・集団回収含む)	804g	790g	749g	739g
一人一日当たりの家庭ごみ総排出量 (資源物・行政回収・集団回収除く)	532g	528g	484g	467g
資源化率	19.7%	15.1%	23.5%	27.8%
最終処分量	6,031t	6,061t	4,518t	2,200t

※平成28年度に比べ29年度のごみ排出量が減少したのに対し、最終処分量が増加したのは、環境センター内のごみピット(ごみをためている場所)の前年度残量分を処理したため。



どのくらいごみを減らせばいいの？

●紙類の削減

紙類は可燃ごみの39%を占めており、1人1日当たりに換算すると166gになります。このうち約6%に当たる10gを削減する必要があります。新聞紙に換算すると1/2枚分になります。

●木竹類の削減

木竹類は可燃ごみの11%を占めており、1人1日当たりに換算すると47gになります。このうち約26%に当たる12gを削減する必要があります。割箸1膳は約6gで2膳分となります。

●プラスチック類の削減

プラスチック類は可燃ごみの組成のうち16%を占めており、1人1日当たりに換算すると68gとなります。このうち約15%に当たる10gを削減する必要があります。スーパーなどの大きなレジ袋は、1枚約10gです。

●食べ残しの削減及び水切りの強化

食べ残し等のちゅう芥類は、可燃ごみのうち約16%を占めており、1人1日当たりに換算すると68gになります。このうち約11gを削減する必要があります。ごはん約一口分となります。また、水分は可燃ごみのうち約50%を占めており、水切りを徹底し、約11gを削減する必要があります。これは、ペットボトルのキャップ約2杯分です。

●不燃ごみ・粗大ごみ

ものを長く、大切にしようすることで、ごみとして排出することを減らす必要があります。不燃ごみ・粗大ごみのうち約10%に当たる11gを削減する必要があります。不燃ごみで排出される歯ブラシ1本分です。

計画の目標達成に向けての取組施策

住民の役割

- ①使い捨て商品から長期的に使用可能な商品へ
- ②再生品や代替品の積極的利用
- ③簡易包装を積極的に選択
- ④マイバッグ・マイ箸の積極的利用
- ⑤生ごみの水切り徹底

行政の役割

- ①ごみの適正処理の推進
- ②事業者への分別徹底、資源化への助言・指導
- ③ごみ問題に関する勉強会・イベントの実施
- ④不法投棄の防止
- ⑤効率的かつ安定的なごみ収集・処理の推進

事業者の役割

- ①資源物の分別徹底
- ②自らの責任により適正処理

※基本計画は、組合のホームページ、常総環境センターで閲覧することができます。

いこいの郷からのお知らせ

温浴施設より

温浴施設では、薬湯風呂をリニューアルし、「北投石ラジウム温泉」を3階に、「炭酸ナノバブル泉」を2階に設置しました。

北投石ラジウム温泉は、療養・癒しの温泉として有名な秋田県玉川温泉より産出した大変貴重な北投石を粉末状にして焼成コーティング加工した石を用いた風呂で、北投石から放出されるラジウムが体の内部に浸透し血行促進を促し、内臓器官の改善に効果があるといわれています。

炭酸ナノバブル泉は、皮膚の毛穴から二酸化炭素を吸収し血管が拡張、血流が増し血行が良くなることで、冷え性やむくみなど血流障害による症状の改善が期待できます。また、ナノバブルにすることで、超微細気泡が効率よく人体にとりつきやすくなり、濃度が低い炭酸水でも効果的に体に浸透します。

健康増進施設より

健康増進施設では、昨年、酸素カプセルを導入し、お客様にご好評をいただいています。酸素カプセルは、疲労回復・ダイエット・成人病予防・美肌・アンチエイジング等に効果があるといわれています。現在、通常料金30分1500円を平日9時から15時30分まで1000円でご利用できます。

レストランより

レストラン「ら・てーる」では、半熟とろとろオムライスが絶品です。さらに、地元野菜をふんだんに利用した和洋さまざまな料理をご用意しています。

平成30年度 普通救命講習会の開催について

水海道消防署、守谷消防署、つくばみらい消防署を会場として普通救命講習会を下記のとおり開催します。

この講習会は、毎年2千人以上の方が受講されています。もしものため、家族のために受講されてはいかがでしょうか。

本年度は、普通救命講習会Ⅰ（成人対象）の他に普通救命講習会Ⅲ（小児・乳児・新生児対象）を加えました。時間については、平日は午後1時30分～4時30分、日曜日は午前9時～正午のそれぞれ3時間となります。

ただし、毎月第2日曜日については、事前に自宅等でインターネットを通じて「応急手当Web講習」（eラーニング）を1時間受講した後、消防署で2時間の実技を受講する日となります。

申込み期間は講習当日の2ヶ月前から2週間前までです。

講習会は一人でも実施します。お気軽にお申し込み下さい。

※消防署の都合によりやむを得ず開催できない場合もございますので予めご了承ください。



お問い合わせ先
水海道消防署
☎0297(23)0911
守谷消防署
☎0297(46)0119
つくばみらい消防署
☎0297(58)0111

平成30年度全国統一防火標語「決定！」

「忘れてない？サイフにスマホに火の確認」

総務省消防庁と一般社団法人日本損害保険協会では、火災予防思想をより広く普及させることを目的として、全国統一防火標語を募集し、53回目当たる今回は、全国から1万8千151点の応募作品が寄せられました。

6月							7月							8月							9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4							1		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				

11月							12月							1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3						1			1	2	3	4	5					1	2						1	2		
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	24	25	26	27	28	29	30					
							30	31																		31								

○水海道消防署 △守谷消防署 ◇つくばみらい消防署 ■部は、救命講習会Ⅲの予定日です。

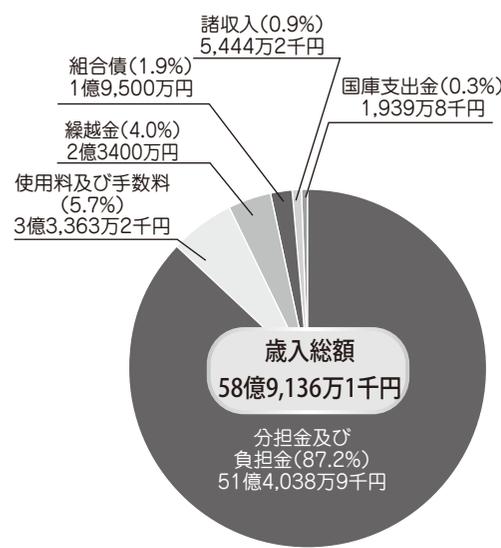
議会報告

平成30年3月28日開催の第1回定例会

事件の番号	案 件	議決結果等
選挙第1号	常総地方広域市町村圏事務組合議会副議長の選挙について	当選人 豊島葵議員
議案第1号	常総地方広域市町村圏事務組合の事務局設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第2号	常総地方広域市町村圏事務組合個人情報保護条例及び常総地方広域市町村圏事務組合情報公開条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第3号	常総地方広域市町村圏事務組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第4号	常総地方広域市町村圏事務組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第5号	常総地方広域市町村圏事務組合手数料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	常総地方広域市町村圏事務組合火災予防条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	常総地方広域市町村圏事務組合消防力適正配置検討委員会条例について	原案可決
議案第8号	常総地方広域市町村圏事務組合特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	平成29年度常総地方広域市町村圏事務組合一般会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第10号	平成30年度常総地方広域市町村圏事務組合一般会計予算について	原案可決

平成30年度予算の概要

平成30年度常総地方広域市町村圏事務組合の一般会計予算が、第1回組合議会定例会において審議され、可決されました。前年度と比較すると2億2,731万円(3.7%)の減額となりました。

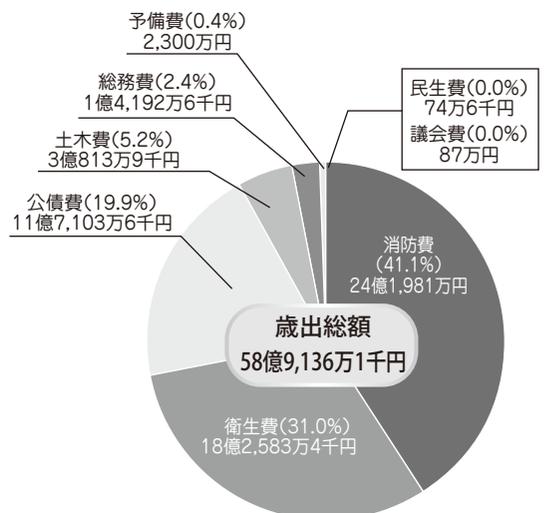


(歳入)

分担金及び負担金	構成4市等からの負担金
使用料及び手数料	防災センター・常総運動公園施設使用料、自販機設置等使用料、ごみ処理・危険物取扱手数料など
繰越金	前年度繰越金
組合債	公園駐車場入口改修事業、高規格救急自動車購入事業、消防庁舎耐震補強事業、自動心肺蘇生器購入事業の借入金
諸収入	容器包装リサイクル協会に係る拠出金、発電余剰電力売電料、高速道路救急業務支弁金など
国庫支出金	廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金、社会资本整備総合交付金、緊急消防援助隊設備整備費補助金

(歳出)

消防費	消防の管理運営経費、施設整備経費
衛生費	環境センターの管理運営経費、放射能対策費
公債費	組合が借り入れたお金の返済金
土木費	運動公園の管理運営経費、浄化槽等撤去工事費、駐車場入口改修工事費
総務費	総括的運営調整経費、職員共同研修経費、監査・防災センター・交流センターの運営経費
議会費	議会関係の運営経費
民生費	障がい者支援施設の管理経費



常総環境センターからのお願い

処理できないもの

常総環境センターへ搬入されるごみは、住民の皆様が分別区分に従って分別していただいておりますが、センターでは処理できないものや危険な医療廃棄物も一緒に出されています。

特に、注射針の付いたままの注射器や点滴などの医療廃棄物は、施設で分別作業をしている作業員が針を刺してしまうことで感染症の恐れがあります。注射器等の医療廃棄物は、病院や薬局などに返却するようお願いいたします。

また、ボーリング球、漬物石、ブロックなどが持ち込まれてしまうと、破砕機での処理の際、設備に大きな支障をきたしてしまい、設備を交換しなければならないこともあります。常総環境センターで処理できないものは、販売店に引き取ってもらいましょう。

処理できないもの
の一部
(不燃ごみの中に入っているもの)



注射器



点滴パック



ボーリング球



漬物石

資源物の分別徹底

資源物は日本容器包装リサイクル協会を通して、再商品化事業者でリサイクル商品などに生まれ変わります。

しかし現在、空きビン、空きカンが高い資源化率で推移していますが、ペットボトル、プラ容器はさらなる分別が必要です。

特にプラ容器袋の中には、不適物が多く混入されています。プラ容器を出す際には必ずプラマークを確認してください。引き続きご協力をお願いします。



平成 29 年度資源物の資源化率

区分	搬入量 (t)	搬出量 (t)	資源化率 (%)	
			29 年度	28 年度
空きビン	1,646	1,639	99	101
空きカン	606	540	89	90
ペットボトル	506	370	73	75
プラ容器	1,748	728	42	41

※この表での資源化率は、各搬出量を搬入量で割ったもので、ごみ全体の資源化率ではありません。
※28年度空きビン資源化率が100%を上回ったのは、27年度未搬入分を28年度当初に搬出したため。

資源物の
プラ容器に入っているもの
の一部



ライター

中身を使い切って不燃ごみへ



プラスチック製品

不燃ごみへ



ゴムチューブ

不燃ごみへ



中身入り塗料

中身をきれいにして空きカンへ

環境測定結果

常総環境センターでは、毎年周辺地域のダイオキシン類、施設の排ガス測定及び放射能分析を実施しています。

平成 29 年度のダイオキシン類、排ガス測定結果は、前年度同様に環境基準を大きく下回っていて安全な運転をしており、また、放射能につきましても排ガス、排水、大野川については不検出、溶融スラグ、溶融不適物、飛灰処理物については、処分場の基準を満たして、安全に処分されています。

周辺地域ダイオキシン類調査結果

調査対象	単位	最小	最大	平均	国の基準
土壌(周辺7箇所)	pg/TEQ/g	0.87	37	8.006	1,000
大気(周辺13箇所)	pg/TEQ/m ³	0.014	0.064	0.031	0.6

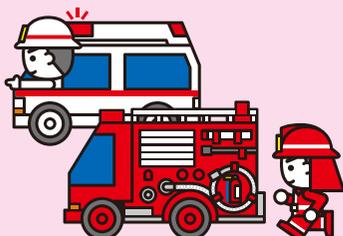
排ガス測定結果

調査対象	単位	最小	最大	自主基準値	国の基準
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.00017	0.00710	0.01	1
ばいじん	g/m ³ N	0.0006	0.00070	0.01	0.08
塩化水素	ppm	32	66	67	430
硫酸化物	ppm	1.4	24	50	3,300
窒素酸化物	ppm	52	78	100	250
一酸化炭素	ppm	3	11	15	30

放射能分析結果

調査対象	単位	最小	最大
排ガス	Bq/m ³	不検出	不検出
溶融スラグ	Bq/kg	22	134
溶融不適物	Bq/kg	不検出	127
飛灰処理物	Bq/kg	379	1,250
排水	Bq/L	不検出	不検出
大野川上流	Bq/L	不検出	不検出
大野川下流	Bq/L	不検出	不検出

地域を守る 消防官を 募集します！



採用予定人員	平成 31 年度採用 常総地方広域市町村圏事務組合消防職員 10 名程度
申し込み 問い合わせ	平成30年7月9日(月)～8月3日(金)土日祝日を除く 午前8:30～午後5:15 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 総務課 TEL 0297-23-0902
提出書類	①受験願書(常総広域消防本部及び管内各消防署[出張所を除く]にあります。 また、常総広域ホームページからもダウンロードできます。) ②卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④現在所有している資格・免許証の写し
身体的要件	◆視力・両眼で0.8以上(矯正を含む)、かつ一眼でそれぞれ0.5以上、 赤色・青色・黄色の色彩が識別できること ◆聴力・左右正常であること
受験資格	平成5年4月2日～平成13年4月1日に生まれ、高校卒業または同程度以上の学力を有する方(平成31年3月卒業見込みを含む)
第一次試験	《 期 日 》平成30年9月16日(日) 《試験内容・会場》教養・作文試験 体力測定 茨城県立水海道第一高等学校
第二次試験	第一次試験合格者に後日通知します

